

主な国際会議開催

1 第10回日英道路ワークショップ（英国：2009年1月26日～27日）

標記ワークショップは、英国交通省（DfT）と国土交通省の間で締結した「道路科学技術に関する協定」に基づき、国総研道路研究室と英国道路庁（HA）を事務局として1998年より毎年開催しているものである。今回は、2009年1月ロンドンにおいて開催し、ITS、環境、業績評価及び道路の時間信頼性評価手法等を討議テーマに設定し、両国の最新の取組について意見交換を行った。ワークショップ2日目の午後は、ロンドン交通管理センターを見学し、世界最大規模の動的信号制御（SCOOT）による交通管理等について説明を受けた。

道路研究部 道路研究室 主任研究官 関谷 浩孝

2 第25回日米橋梁ワークショップ（日本：2009年10月19日～21日）

本ワークショップは、天然資源の開発利用に関する日米会議（UJNR）の耐風・耐震構造専門部会の下に設けられた作業部会G（交通システム）の活動として、日米交互開催で毎年行われている。今回は、つくばで開催され、耐震性能の評価手法、耐震補強や急速施工などの施工技術、点検から更新まで合理的維持管理手法などを中心に、論文発表（日本側16編、米国側13編）、討議及び意見交換等を行った。またワークショップに併せて双方の政府関係機関による二国間会議を開催した。ここでは点検手法や健全性評価などの維持管理手法や地震災害発生後の対応手法に関する意見交換を行い、継続的な情報交換を行うことを確認した。

道路研究部 道路構造物管理研究室長 玉越 隆史

3 土砂災害危機管理に関する日伊シンポジウム（日本：2009年10月27日）

砂防研究室は、イタリア共和国国家研究評議会（CNR）と共同で2004年（平成16年）より「水文地質学的リスクに関する文献、研究及び研修のための日伊共同研究所に関する取極め」、2008年（平成20年）より「土砂災害ハザード評価と対策」に関するプロジェクトを進めてきた。特に「土砂災害ハザード評価と対策」は、日伊科学技術協力協定に基づいて開催された第9回日伊科学技術協力合同委員会において、エグゼクティブ・プロジェクトとして採択され、2009（平成21）年度に終了する予定である。そこで、2009年（平成21年）10月27日に三田共用会議所で「土砂災害危機管理に関する日伊シンポジウム」を開催したところ、イタリア共和国代表団6名と一般の方を含めて計57名の方が参加し、特に地震による土砂災害に対する危機管理（リスク・ガバナンス）について討論した。

危機管理技術研究センター 砂防研究室 主任研究官 水野 秀明

4 第18回アジア地域国土整備関係研究所長等会議（日本：2009年11月10日～17日）

国土交通省国土技術政策総合研究所（以下、NILIMという。）とインドネシア国公共事業省道路・橋梁研究所（Research and Development Center for Roads and Bridges, Research and Development Agency, Ministry of Public Works, Indonesia）（以下、RDCRBという。）とは、「第18回アジア地域国土整備関係研究所長等会議」（テーマ：地域の実情や課題に応じた独創的な道路政策）において研究協力に関する覚書を締結した。

今後、RDCRBとNILIMは、本覚書の締結に基づき、当所とアジア地域との連携強化や国際的な人的ネットワーク形成の観点から、共同で技術セミナーを開催するなど両研究所の継続的な研究情報の交換や研究者の交流等を積極的に行い、アジア地域の成長を技術面からサポートしていく予定である。

企画部 国際研究推進室 国際交流専門職 中山 喜志夫